



テクニカル・メッセージ

車両点検・整備時の留意点 ～バッテリーの点検を必ず実施してください～

近年の車両は多くの電子装置・後付け電装品が取り付けられているため、従来よりもバッテリーの負荷が大きくなってきています。使用中に徐々にバッテリー性能が低下し、**エンジンがかかりにくくなったり、突然かからなくなる**事例があります。お客様に安心して車両をお使いいただくには、点検・整備時のメンテナンスが非常に重要です。そのため以下のことを確実に実施してください。

■対象車両

●トラック・バス全車

特にバッテリー性能が低下しやすいのは右記のような使われ方の車両です。

- ・1日あたりの走行距離が少ない
例：～10km(小型)、～100km(大型)
- ・エンジンを停止させ、長時間電装品を使用する
- ・エンジン始動・停止の回数が多い
- ・架装、後付け機器の使用電力量が多い



■バッテリーの点検について

●日常(運行前)点検

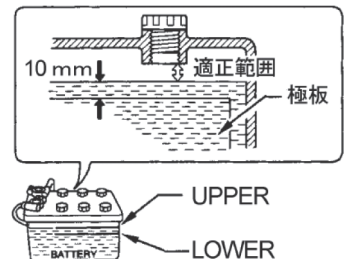
◆エンジンのかかり具合

始動が1回でできない、またはエンジンの掛かりがこれまでに比べ遅くなった場合はメンテナンスが必要です。

◆バッテリー液量の確認

液量が少ない場合

⇒取扱説明書に従い、必ず補充液または蒸留水を補充してください。



●メンテナンス

サーキットテスタによる電圧の測定のみではバッテリーの正確な良否判定はできません。必ず、比重を測定するか、バッテリーテスタで判定をおこなってください。

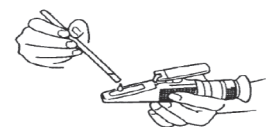
◆バッテリー比重

比重が1.23以下の場合

⇒バッテリーを充電してください。

充電後も1.23以下の場合にはバッテリーを新品に交換[※]してください。

比重(液温20℃)	
1.23以下	不足(充電する)
1.24～1.29	良好



◆バッテリーテスタ

テスタの判定結果により、必要に応じバッテリーを新品に交換[※]してください。

※消防車、構内稼働が主の車両、直冷式冷凍車、宅配車、ならびに後付け電装品が取り付けられた車両には高容量バッテリーをおすすめします。

●3ヶ月毎の点検

◆バッテリーターミナル部の状態

ゆるみや腐食がないことを確認してください。

日野自動車